

服装のきまり

男子制服

(夏・冬共通)

1. Yシャツはズボンの中に入れる。
2. 黒のベルトをしめる。
3. 腰パンをしない。
4. ズボンのすそは床につかないこと。
5. 胸にネームプレートをつける。
6. 制服の下はYシャツか白(紺)のTシャツ、防寒用のトレーナー、セーターとする。
ただし、見えないように着用すること。

女子制服

(夏・冬共通)

1. スカート丈はひざ下とする。
2. 胸にネームプレートをつける。
3. ソックスの色は黒・白・紺とする。

○ 夏型

1. ベストは暑い場合は脱いでも良い。(式の場合、指示あり)

○ 冬型

1. 式の際は黒タイツとベストを着用する。
2. 防寒にセーター等を着用してもよいが、ブレザーからはみ出ないようにし、上にはおる着方はしない。

運動着

(半袖・ハーフパンツ)

1. Tシャツは学校指定または白・紺(ワンポイント可)。
2. Tシャツはハーフパンツの中に入れる。
(新デザインの場合は、すそを入れなくてもよい。)

(長袖・長ズボン)

1. 長袖は手をかくさず着用する。
2. 長袖には着用している生徒のフルネームがついていること。
3. ファスナーは校章の上まで上げる。
4. 寒い時は中に長袖の服を着用することができる。
ただし黒・白・紺(ワンポイント可)で首や袖口から出ないものとする。
5. 長袖の中に着るTシャツは服装規定に準ずる。
6. ひざが破れていたり、袖口がほつれたりした場合は、修繕して着用する。

(ジャージ共通)

1. 腰パンをしない。
2. ハイネックのアンダーシャツを着ない。

靴下

1. 白・黒・紺色で無地かワンポイントとする。
2. くるぶしソックスは、ジャージ着用時のみ。

頭髪規定

1. パーマ・脱色はしない。
2. 整髪料は使わない。
3. 前髪は目にかからない長さにする。
4. 後ろ髪は襟にかかったり肩についたりする場合は結ぶ。
5. 髪留めに使うゴムの色は黒・茶・紺にする。ピンは黒のアメリカヘアピンのみとする。

その他

- ・制汗剤やシートは使わない。ただし、熱中症対策として、冷感タオルは可とする。
- ・キーホルダー等をスクールザックやサブバッグ、ペンケース等につけない。お守りはザック等の中に入れる。
- ・生徒証（カード）は、スクールザックに入れて保管する。
- ・外套、スニーカーなど、身に着けるものは、入試に着ていけるかを基準にする。
- ・通信機能のある時計（アップルウォッチなど）は、入試会場の敷地内に持ち込み禁止のため、使用しない。
- ・女子がスラックス、男子がスカートを選ぶことも可。
- ・衣替えは6月と10月だが、気温等を考慮して移行期間を設ける場合がある。事前に保護者に知らせる。